

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和7年 第 20 週 令和7年5月12日 ～ 令和7年5月18日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第20週】 百日咳 患者10名 (10歳未満・女性1名、男性4名、10代・女性2名、男性1名、40代・女性1名、60代・女性1名)

定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 (定点医療機関当たり患者数)

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベル				警報レベル		注意 報レベル
	19 週	20 週	開始	終息			19 週	20 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	0.00	0.00	30	10	10	突発性発しん	1.00	1.00			
COVID-19	0.00	0.80				ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	60.20	96.20				流行性耳下腺炎	0.33	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	1.33	0.33				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.00	0.00	3	1		流行性角結膜炎	0.00	1.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	2.00	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	8.00	13.33	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.67	1.33 注意報	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00			
手足口病	0.33	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.00	0.67	2	1		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

水痘(みずぼうそう)が注意報レベルにあります



発疹の発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発疹は紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かさぶたになること)して治癒するとされています。一部は重症化することがあります。主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。小児における重症化は、熱性痙攣、肺炎、気管支炎等の合併症によるものです。成人での水痘も稀に見られますが、成人に水痘が発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。



- 水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスというウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。
 - 空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、その潜伏期間は感染から2週間程度と言われています。
 - 水痘には弱毒化生ワクチンがあり、有効な予防方法です。2014年10月1日から定期予防接種対象となっています。
- 1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。また、水痘患者に接触した場合でも、3日以内にワクチンを接種すれば80%から90%発病を予防でき、家族内感染の予防や施設内感染の防止に有効とされています。
- また、発症した場合でも症状の軽減化が期待できます。

引き続き、百日咳に注意しましょう!